



# JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

# 中学

# 国語一年

## 七月 第②週

〈光と風からもらった贈り物〉

鹿踊りの始まり





## みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
印刷やダウンロードができます。



## お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
  2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
  3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



## 印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



The screenshot shows the JPNC Class website homepage. At the top left is the logo for 'JPN Class Online school - 日本語で学ぼう'. Below it is the text '日本語で学ぼう! 小学生、中学生向けオンライン授業'. On the right side, there are navigation links: 'お知らせ', 'YouTube 授業', 'オンライン授業', '講演会・セミナー', '講師プロフィール', and 'ご意見・連絡先'. The main heading is 'ようこそ JPN Class へ'. Below the heading, there is a paragraph of text on the left and an illustration of a person sitting at a desk with a computer monitor and an open book on the right. The computer monitor displays the JPNC Class logo and a list of video thumbnails. The text on the left reads: 'JPNCClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。授業は、オンライン授業 (Zoom)、ビデオ (Youtube)を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。'

# 印刷の仕方

3. 中学1年の教科書をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) ▾ オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お知らせ  
ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

## YouTube 授業

小学4年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学5年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学6年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



中学1年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)





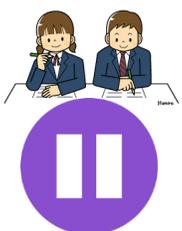
## ②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

(赤ペン、赤えんぴつも必要)

## ③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めた  
り、もう一度ビデオを見たりして  
ください。

## 先週の宿題

### 1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

### 2. 音読

「光と風からもらった贈り物」を読み方を工夫して読みましょう。

### 3. 調べよう

宮沢賢治についてまとめましょう。

\* 小学校6年生でやった「イートハーブの夢」を参考資料として付けてあります。それを参考にしてやってみてください。

## 漢字テスト①

—の漢字の読み方を書きましよう。

- ① 光と風からもらった**贈り物**。
- ② 「**鹿踊り**のはじまり」という童話。
- ③ **見渡す**かぎりの広い高原に立つ。
- ④ 海のようにだと**錯覚**する。
- ⑤ 毛が風に**舞う**。
- ⑥ **魔法**のようなすばらしい一編の詩。
- ⑦ 賢治の**傑作**童話。
- ⑧ **森羅万象**
- ⑨ 楽しく**愉快**に読む。



# 漢字テスト①

—の漢字の読み方を書きましょう。

答え合わせをしましょう。

- ① 光と風からもらった**贈り物**。  
おくりもの
- ② **鹿踊り**のはじまり。  
おどり
- ③ **見渡す**かぎりの広い高原に立つ。みわたす
- ④ 海のようにだと**錯覚**する。  
さっかく
- ⑤ 毛が風に**舞う**。  
まう
- ⑥ **魔法**のような一編の詩。  
まほう
- ⑦ 賢治の**傑作**童話。  
けっさく
- ⑧ **森羅万象**  
しんらばん  
しょう
- ⑨ 楽しく**愉快**に読む。  
ゆかい



## 漢字テスト②

―を漢字で書きましょう。

- ① 光と風からもらったおくりもの。
- ② 「鹿おどりののはじまり」という童話。
- ③ みわたすかぎりの広い高原に立つ。
- ④ 海のようにだとさっかくする。
- ⑤ 毛が風にまう。
- ⑥ まほうのようなすばらしい一編の詩。
- ⑦ 賢治のけっさく童話。
- ⑧ しんらばんしよう
- ⑨ 楽しくゆかいに読む。

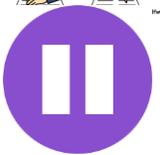


## 漢字テスト②

―を漢字で書きましょう。

答え合わせをしましょう。

- ① 光と風からもらったおくりもの。 贈り物
- ② 「鹿おどりののはじまり」という童話。 踊り
- ③ みわたすかぎりの広い高原に立つ。 見渡す
- ④ 海のようにだとさっかくする。 錯覚
- ⑤ 毛が風にまう。 舞う
- ⑥ まほうのようなすばらしい一編の詩。 魔法
- ⑦ 賢治のけっさく童話。 傑作
- ⑧ しんらばんしよう 森羅万象
- ⑨ 楽しくゆかいに読む 愉快



宮澤賢治は一八九六年に、岩手県の花巻に生まれた。この年、三陸大津波、大雨による洪水、陸羽大地震、伝染病の流行と、次々に災害が起きた。

小学校の頃の賢治は、石集めが好きだったため、「石こ賢さん」と呼ばれていた。中学に入学した年も、自然災害で農作物が取れなかった。農作物の被害を少なくしたいと考えた賢治は、最新の農業技術を学ぶために、盛岡高等農林学校に入学した。

学者の道に進むことをすすめられるが、花巻の農学校の先生になる。賢治の口ぐせは「いねの心が分かる人間になれ。」だった。暴れる自然に勝つためには、みんなで力を合わせなくてはならない。そのためにはやさしい心が通い合っていなければならぬ。そのやさしさを人々に育ててもらうために、賢治はたくさん詩や童話を書いた。「風の又三郎」「グスコーブドリの伝記」「セロ弾きのゴーシュ」

三十さいのとき、賢治は農学校をやめ「羅須地人協会」を作り、農家の青年を集め、自分も田畑を耕しながら勉強をした。二年後、病気のため協会を閉じることになった。しかし、翌年には、「石灰肥料会社」の共同経営者になった。病床でも、肥料についての質問には一時間以上も話をした。一九三三年、三十七さいで死去した。

賢治の一生を簡単にまとめたが、亡くなるまで農民と関わり続けた賢治についてまとめよう。花巻農学校の先生になってから、農民と直接の関わりが始まった。農業技術という科目を担当し、賢治は「おれたちはみな農民である。ずいぶん忙しく仕事もつらい。もつと明るく生き生きと生活する道を見つけない。」と言っている。農学校をやめた後、「本統の百姓」になるためと言って畑を耕し始めた。その賢治のまわりに近くの農家の青年や教え子が集まって来た。この集まりが「羅須地人協会」になる。賢治は、農事講演や肥料相談のため、近くの村々をまわったり、協会の建物で農業や芸術の講義をした。この活動は、死ぬまで続いた。





宮澤賢治は、生涯しょうがいのほとんどを東北地方の岩手県で、豊かな自然と対話しながら過ごしました。そのいっぽうで彼は、科学的な**教養**も身につけ、そのような目でものを見ることのできた詩人です。

「高原」という詩をよんでみましょう。

高原

海だべがど おら おもたれば  
やつぱり(ヤツ)光る山だ(シヤ)たちやい

ホウ

髪毛かみけ 風吹けば

鹿踊りししだち(シヤ)あい

10

「高原」  
生前に刊行された唯一の詩集「春と修羅」(一九二四年)に収められている。

5

鹿踊り

宮城・岩手県の民族芸能の一つ。

(4)のページを参照)

みんぞく

見渡すかぎりの広い高原に立ったとき、例えば、すすきが一面きらきらと銀色に波打って光っていれば、目の前の風景は、まるで海のようにも見えてくるでしょう。一瞬、海のようにだと錯覚した、その感覚、感じ方を賢治は大事にしているのです。錯覚だとわかったときのまた驚き。思わず「ホウ」と大きく息をはき、大自然に対して、声を出してしまったのです。「ホウ」の一語に、そうした驚きや、感動、一瞬の思いがすべてこめられています。この「ホウ」と発した言葉こそが、詩歌の始まりなのです。しかも単なる呼びかけのな「ヤツホー」でも、「ウオー」でもなく、ここは「ホウ」以外には、ちよつとなさそうです。

20



宮澤賢治 (一八九六一一九三三) 岩手県出身。童話作家・詩人。作品に「注文の多い料理店」「風の又三郎」「セロ弾きのゴージュ」、詩集に「春と修羅」などがある。

《言葉》

教養 学問・知識などによって養われる人から。

《新しい漢字》

贈り物

踊り

見渡す

錯覚



するとどうでしょう、この一語が回転軸じくになって、次の瞬間、髪の毛が風に舞う自分自身も、風や光と一体になって大自然と一つにだけ合っているということに気づくのです。自分はまるで大地を躍動やくだうする鹿しかのようになって、踊り、歌い、駆け巡る生命体、風景の一部と化しているではありませんか。

動物や植物、あるいは岩石や海といった風景それ自体も、実は人間が誕生する以前のずっと昔から踊り、歌っていたというわけです。この詩は、人間がそうした自然界に参加した瞬間の感覚を歌いあげた、スケールの大きな詩となっています

詩には、現実を言葉で変えてみせる力があります。幻想的な童話も得意だった賢治の詩法が余すところなく發揮された、魔法のようなすばらしい一編の詩となっていることがわかります。

賢治は「鹿踊りのはじまり」と言う童話も書いています。この童話は、命あるものの原初の姿や在り方が語られた傑作童話です。自然の中では、人は鹿にもなれるし、人も、ほかの動物も植物も、光や風や海や野原や山なども、みんなが地球上の同じ地平に共生しているものなのだという、地球環境に対するメッセージさえも読み取れます。

### 「鹿踊りのはじまり」

生前に刊行された唯一の童話集「注文の多い料理店」（一九二四年）に収められている。

### 《言葉》

**躍動** 生き生きと活動すること。

……と化す 姿や形が変わる。変化する。

**自然界** 人がつくった物ではなく、この世の中にもとからある世界。

**幻想** 実際の世界をはなれて、夢でも見ているような様子。

余すところなく 残らず。すべて。

### 《新しい漢字》

舞まう

魔法ま

傑けつ作

人間の自分勝手な人間中心の世界観ではなく、森羅万象、さまざまに生きとし生けるものたちに、人間は生かされているのだ、という賢治のつつしみ深い考え方に多くの人が共感する時代になってきました。時代がようやく賢治に追いついてきた、といってもよいかもしれません。

「高原」は、賢治が生活した東北地方の方言で書かれています。みなさんも実際に声に出して読んでみてください。何度も繰り返し、いろいろな読み方を試してみるといいでしょう。ゆっくりと、楽しく愉快に、多少おどけて、あるいは遠くまで聞こえるような高いさけび声で、鳥やけもののように大きく。そうすると、詩がもっている表情がさらに生き生きとしてきて、言葉に命がふきこまれるように感じませんか。

### 「鹿踊りのはじまり」

生前に刊行された唯一の童話集「注文の多い料理店」（一九二四年）に収められている。

### 森羅万象

宇宙に数かぎりなく存在する一切の物事。

### 《新しい漢字》

《新しい読み方の漢字》

森羅万象

愉快



賢治の生前に刊行された唯一の詩集。  
「高原」が収められている。



そのとき西のぎらぎらの縮れた雲の間から、夕陽は赤くななめに苔の野原に注ぎ、すすきはみんな白い火のようにゆれて光りました。私がつかれてそこに睡りますと、ざあざあ吹いていた風が、だんだん人の言葉に聞こえ、やがてそれは、いま北上の山の方や、野原に行われていた鹿踊りの、本当の精神を語りました。

(冒頭部分より抜粋)



賢治が終生愛した岩手山



はなまき  
鹿踊り 賢治の故郷、花巻の鹿踊り

「鹿踊り」は、東北地方に古くから伝わる民俗芸能である。鹿の装束をつけた人々が、腰に下げた太鼓をたたき、背中のささら（竹でできた白い竿）をしならせながら、勇壮に舞い踊る。賢治は、人の原初の姿を感じられるこの踊りを愛し、たびたび作品の題材とした。童話「鹿踊りのはじまり」は、野原を渡る風が鹿踊りの起源を語る形式で書かれている。

太陽が、ちょうど一本のはんのはんのきの頂にかかっていますので、そのこずえはあやしく青く光り、まるで鹿の群を見下ろしてじっと立っている青い生き物のように思われました。すすきの穂も、一本ずつ銀いろにかがやき、鹿の毛並がことにその日は立派でした。

嘉十はよろこんで、そつと片ひぎを付いてそれに見とれました。

鹿は大きな環をつくって、ぐるくるぐるくる回っていました。よく見るとどの鹿も環の真ん中の方に気が取られているようでした。

その証拠には、頭も耳も眼もみんなそつちへ向いて、おまけにたびたび、いかにも引つ張られるように、よろよろと二足三足、環から離れてそつちへ寄って行きそうにするのでした。

(「鹿踊りのはじまり」より抜粋)





## 高原

海だべがど おら おもたれば

やつぱり光る山だたちやい

ホウ

髪の毛 風吹けば

鹿踊りだちあい

見渡すかぎりの広い高原に立ったとき、例えば、すすきが一面きらきらと銀色に波打って光っていれば、目の前の風景は、まるで海のようにも見えてくるでしょう。一瞬、海<sup>①</sup>のようだ<sup>①</sup>と錯覚した、その感覚、感じ方を賢治は大事にしているのです。錯覚だとわかったときのまた驚き。思わず「ホウ」と大きく息をはき、大自然に対して、声を出してしまったのです。「ホウ」の一語に、そうした驚きや、感動、一瞬の思いがすべてこめられています。この「ホウ」と発した言葉こそが、詩歌<sup>②</sup>の始まりなのです。しかも単なる呼びかけ的な「ヤッホー」でも、「ウオー」でもなく、ここは「ホウ」以外には、ちよつとなさそうです。

するとどうでしょう、この一語が回<sup>③</sup>転軸<sup>③</sup>になって、次の瞬間、髪の毛が風に舞う自分自身も、風や光と一体になって大自然と一つにとけ合<sup>④</sup>っているということに気づくのです。自分はまるで大地を躍<sup>④</sup>動<sup>④</sup>する鹿<sup>④</sup>のようになって、踊り、歌い、駆け巡る生命体、風景の一部と化しているではありませんか。

たかはしせおり  
《高橋世織「光と風からもらった贈り物」より》

「高原」をくわしく読みとりましょう。



(1) ー線①「海のようにだと錯覚した」とありますが、このことは、「高原」ではどのようなように表現されていますか。「高原」から一行でかきだしましょう。

( )

)

(2) ー線②「ここは『ホウ』以外には、ちよつとなさそうです」とありますが、そういえるのはなぜですか。次から選びましょう。

ア「ホウ」は一瞬のおもいがすべてこめられている言葉だから。  
イ「ヤッホー」などの言葉は詩歌に用いるべきでないから。  
ウ「ヤッホー」などの言葉は賢治にふさわしくないから。  
エ 驚いたときに発する言葉は「ホウ」しかないから。

(3) ー線③「この一語」が指している言葉を、文章中から書き出しなさい。

( ) ( )

(4) ー線④「自分自身も、風や光と一体になって大自然と一つにとけ合っている」を言いかえた表現を、文章中から見つけましょう。


)




「高原」をくわしく読みとりましょう。



(1) ー線①「海のようにだと錯覚した」とありますが、このことは、「高原」ではどのように表現されていますか。「高原」から一行でかきだしましょう。

(海だべがど おら おもたれば )

(2) ー線②「ここは『ホウ』以外には、ちよつとなさそうです」とありますが、そういえるのはなぜですか。次から選びましょう。

ア「ホウ」は一瞬のおもいがすべてこめられている言葉だから。  
イ「ヤッホー」などの言葉は詩歌に用いるべきでないから。  
ウ「ヤッホー」などの言葉は賢治にふさわしくないから。  
エ 驚いたときに発する言葉は「ホウ」しかないから。

ア

(3) ー線③「この一語」が指している言葉を、文章中から書き出しなさい。

(ホウ)

(4) ー線④「自分自身も、風や光と一体になって大自然と一つにとけ合っている」を言いかえた表現を、文章中から見つけましょう。

自
分
は
ま
る

く

化
し
て
い
る





詩には、現実を言葉で変えてみせる力があります。幻想的な童話も得意だった賢治けんじの詩法が余すところなく発揮された、魔法のようなすばらしい一編の詩となっていることがわかります。

賢治は「鹿踊りのはじまり」と言う童話も書いています。この童話には、命あるものの原初の姿や在り方が語られた傑作童話です。自然の中では、人は鹿にもなれるし、<sup>①</sup>人も、ほかの動物も植物も、光や風や、海や野原や山なども、みんなが地球上の同じ地平に共生しているものなのだという、地球環境に対するメッセーヂさえも読み取れます。

人間の自分勝手な人間中心の世界観ではなく、森羅万象、さまざまな生きとし生けるものたちに、人間は生かされているのだ、という賢治のつつしみ深い考え方に多くの人が共感する時代になってきました。<sup>②</sup>時代がようやく賢治に追いついてきた、といってもよいかもしれません。

「高原」<sup>③</sup>は、賢治が生活した東北地方の方言で書かれています。みなさんも実際に声に出して読んでみてください。何度も繰り返し、いろいろな読み方を試してみるといいでしょう。ゆっくりと、楽しく愉快地に、多少おどけて、あるいは遠くまで聞こえるような高いさけび声で、鳥やけもののように大きく。そうすると、詩がもっている表情がさらに生き生きとしてきて、言葉に命がふきこまれるように感じませんか。

たかはしせおり  
《高橋世織「光と風からもらった贈り物」より》

④



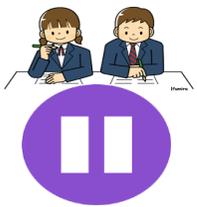
(1) ー線① 「人も、ほかの動物も植物も、光や風や、海や野原や山なども、みんなが地球上の同じ地平に共生しているものなのだ」とありますが、これと対照的な考え方を表している言葉を、文章中から八字で書き出しましょう。


(2) ー線② 「時代がようやく賢治に追いついてきた」とありますが、これは、人々がどのような考え方をするようになったということですか。「…という考え方」に続く形で、文章中から三十五字で見つけて、初めと終わりの五字を書きましましょう。


}


(3) ー線③ 「実際に声に出して読んでみてください」とありますが、筆者は、声に出して読むと、どのようなになると考えていますか。文章中から四十字で見つけて、初めと終わりの五字を書きましましょう。


}

(1) ー線①「人も、ほかの動物も植物も、光や風や、海や野原や山なども、みんなが地球上の同じ地平に共生しているものなのだ」とありますが、これと対照的な考え方を表している言葉を、文章中から八字で書き出しましょう。

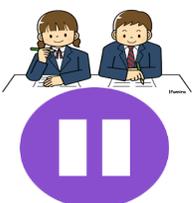
人
間
中
心
の
世
界
観

(2) ー線②「時代がようやく賢治に追いついてきた」とありますが、これは、人々がどのような考え方をするようになったということですか。「…という考え方」に続く形で、文章中から三十五字で見つけて、初めと終わりの五字を書きましましょう。

森
羅
万
象
、
く
て
い
る
の
だ

(3) ー線③「実際に声に出して読んでみてください」とありますが、筆者は、声に出して読むと、どのようなになると考えていますか。文章中から四十字で見つけて、初めと終わりの五字を書きましましょう。

詩
が
も
っ
て
く
ま
れ
て
く
る



## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。必ずやりましょう。

### 1. 漢字

漢字テストでできなかった漢字を中心に、漢字の復習をしましょう。

### 2. 音読

「光と風からもらった贈り物」を読みましょう。

### 3. 内容をくわしく読み取りましょう。

ノートに書いたものを見ながら、「「高原」をくわしく読みとりましょう。」と「まとめの問題」の復習をしましょう。



# JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

# 中学

# 国語 一年

# 年間学習表



7月 (夏休み=授業は3回)	6月	5月	4月		
		<p>体験したことを伝えよう スピーチの構成を考え、メモをもとにスピーチをしよう。</p>	<p>野原はうたう 好きな詩を、登場する生き物の気持ちになつて朗読しよう。</p>	<p>一年間の学習を通して 先生の話を聞き、学習を進めよう。</p>	<p>話す／聞く</p>
<p>文章の推敲と原稿用紙の使い方 推敲のポイントと原稿用紙のうえでの推敲の仕方を知らう。原稿用紙の決まりを確かめよう。</p>	<p>情報を文章にまとめよう 自分の身の回りのことについて、情報を集め、文章にまとめよう。</p>	<p>体験したことを伝えよう スピーチの構成を考え、スピーチメモを書こう。</p>	<p>野原はうたう 自分の好きな生き物を選んで、詩を作ろう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記事に対する自分の意見や感想を書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>光と風からもらった贈り物 筆者が「高原」のどんなところに、言葉の豊かさを感じているかをとらえよう。</p>	<p>クジラたちの声 クジラの情報伝達に関する二つの問いをおさえ、音の役割、海中での情報伝達に音が最適である理由をつかもう。</p>	<p>ちよつと立ち止まつて 各図の説明を通して、ものの見方について、筆者が述べていることをとらえよう。</p>	<p>野原はうたう 作者が生き物の姿にどんな思いを感じているかを、読み取るにじの見える橋 少年の行動や心情に着目し、にじを見る前とあとの気持ちの変化をとらえよう。</p>	<p>新聞記事 新聞記事を読もう。</p>	<p>読む</p>
<p>混同しやすい漢字 形が似ていたり音が同じであったりする漢字を知り、間違えて使わないように気をつけよう。</p>	<p>言葉の単位 文節や単語に区切る方法を知ろう。</p>	<p>漢字の組み立てと部首 漢字の部分のよび名と表すものを覚えよう。</p>	<p>話し言葉と書き言葉 話し言葉と書き言葉の違いをおさえよう。</p>		<p>言葉</p>

1 2月 (冬休み=授業は3回)	1 1月	1 0月	9月	8月 (夏休み=授業は3回)	
	<p>いろは歌 仮名のみの原文を、 古文の調子にのって 読み、聞いてもらお う。</p>				話す／聞く
<p>未来をひらく微生物 環境問題について課 題を見つけ、レポー トにまとめよう。</p>		<p>大人になれなかった 弟たちに・・・ 心に残ったこと、自 分の生活と比べてど んなことを考えたの か、感想文を書こう。</p>	<p>手紙を書こう 手紙の形式を知り、 目的や相手を考え、 手紙が書けるようにな ろう。</p>	<p>さつき 読み取った内容を、 自分自身の体験と重 ねて感想を書こう。 読書記録 読んだ本の読書記録 を書いて残そう。</p>	書く
<p>未来をひらく微生物 自然の仕組みの中で、 微生物の働きが、環 境問題の解決どのよ うに利用されている のか読み取ろう。</p>	<p>今に生きる言葉 漢文独特の言い回し に慣れよう。「矛 盾」がどんなエピ ソードからどんな意 味に使われるように なったのか確かめよ う。</p>	<p>大人になれなかった 弟たちに・・・ 表現に着目し、登場 人物の心情や作者の 思いを読み取ろう。</p>	<p>麦わら帽子 麦わら帽子やカモメ に対するマキの気持 ちと、その移り変わ りを読み取ろう。</p>	<p>さつき 助けを呼びに走る場 面や、助かった正作 を見上げる場面の、 惇の胸中を表す言葉 に注目して読もう。</p>	読む
<p>文の組み立て 文の成分のそれぞれ の働きや、文節どう しの関係を理解しよ う。</p>	<p>漢字の音訓 音と訓それぞれの読 み方と、意味を考え よう。</p>	<p>漢字四字の熟語 漢字四字の意味をお さえよう。</p>	<p>漢語・和語・外来語 漢語・和語・外来語 の分類ができるよう になろう。</p>		言葉
	<p>古典の言葉 文語と口語の違いを 考えよう。</p>				

	3月	2月	1月 (冬休み=授業は3回)	
		心に残る思いで読み手の興味を引くように、発表しよう。		話す／聞く
	言葉調べよう 言葉についての課題を調べ、資料にまとめる。	心に残る思いで、今までの経験で、自分が成長したと思えることや、変わったと思うことを思い出して、文章にまとめよう。	江戸からのメッセージ 江戸の知恵を今の時代に生かせることは何か考え、それをまとめよう。	書く
	胸の底の人と言葉たち 人や言葉との出会いを読み取り、筆者がわたしたちに願うことは何かを考えよう。	少年の日の思い出登場人物の心情の移り変わりをとらえ、生き方を考えよう。	江戸からのメッセージ リサイクルを徹底した江戸っ子の生活と、そこから導かれた筆者の主張をつかもう。	読む
〈一年生の漢字〉 一年生で習った漢字の復習をしよう。	漢字の成り立ち 漢字の成り立ちをおさえ、成り立ちで意味や読みを類推できることを知ろう。	指示する語句と接続する語句 指示する語句と接続する語句の種類や用法を理解しよう。	辞典を活用しよう 国語辞典、漢和辞典の使い方を知り、実際に様々な言葉を調べよう。	言葉



# JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

# 中学

# 国語一年

# 七月 第②週

「いいね」

「チャンネル登録」

よろしくね！

また来週。

